

地域整備実施計画に係る
平成30年度実施状況および令和元年度実施予定

令和元年5月23日

独立行政法人水資源機構

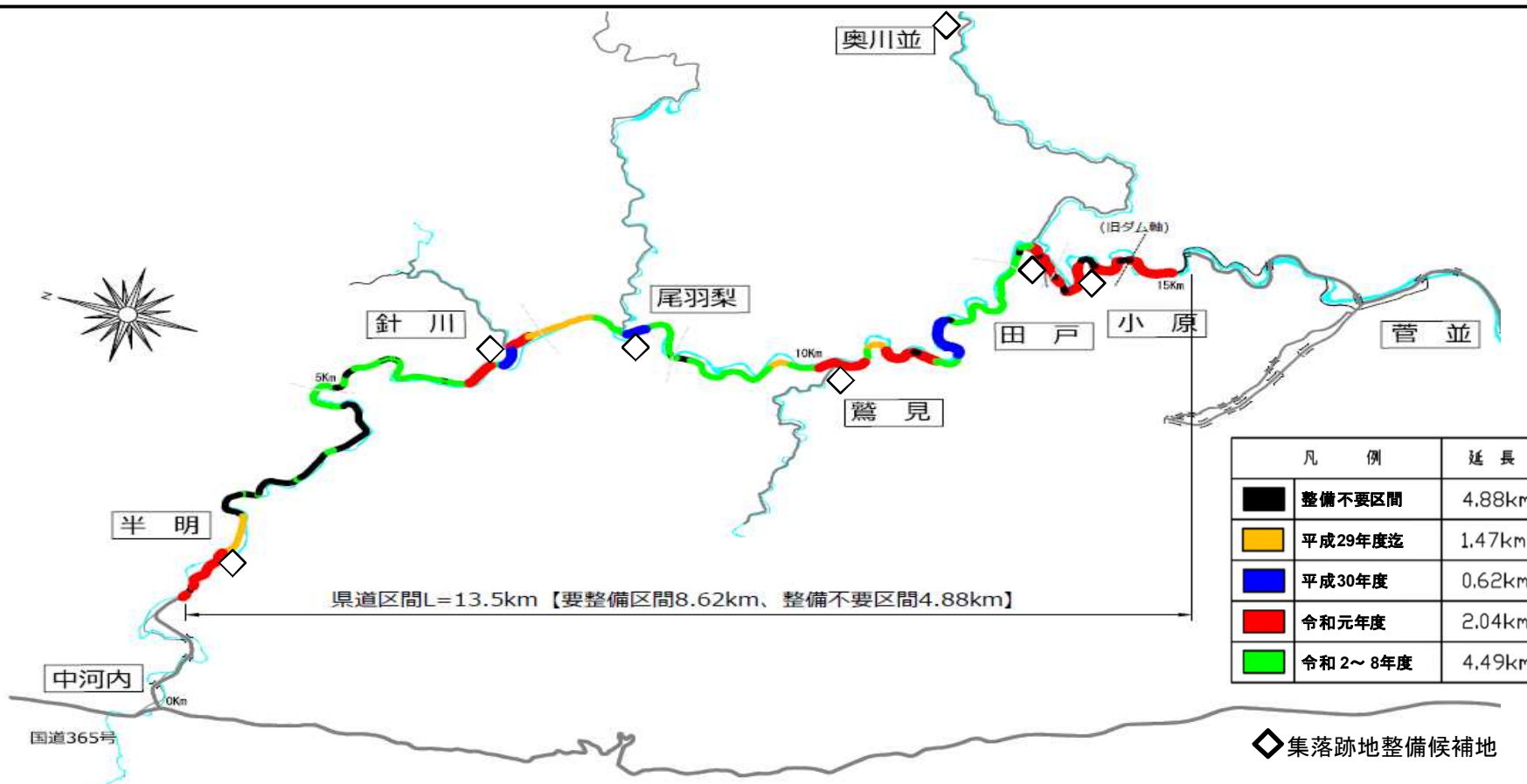
丹生事務所

実施内容について（水機構）

- ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備
- ⑪-2 河川へのアクセス道の整備（道路原形復旧の一環）
- ⑭-3 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）
 - ・ 滋賀県の拡幅工事（水機構が滋賀県より施工受託）と併せ道路原形復旧を実施。
 - ・ 道路整備箇所：H30年度 施工延長 0.62km、R1年度 施工延長 2.04km予定
 - ・ 現県道整備にあわせ、河川へのアクセス道の整備を実施（H30年度：5箇所、R1年度：4箇所予定）
 - ・ 現県道整備にあわせ、集落跡地の整備を実施（R1年度：小原・半明地区）
 - ・ 工事用道路2号線部分引き渡しのための検討を実施（R1年度）
- ②-1 工事用道路として利用した市道洞寿院線（舗装修繕）
 - ・ 舗装修繕：約1,600m²
- ②-2 工事用道路として利用した市道奥川並線（路肩補修等）
 - ・ 路肩補修工事（1箇所）及び長浜市からの受託による平成29年の災害復旧工事（5箇所）を実施
- ⑥-3 生活関連施設等の整備（工事用道路で利用した道路原形復旧の一環）
 - ・ 舗装修繕等
- ⑪-1 トレイル道の整備（調査施設撤去時の作業道）
 - ・ トレイル道整備
- ⑬-1 ダム事業を通して収集した地域資料の活用
 - ・ 丹生ダムの建設事業を通じて収集した地域の地誌・歴史・環境等に関する膨大な資料、旧中河内小学校に関する記録も含めた資料の整理及び活用方法の検討を実施。
- ⑭-1 買収用地以外の山林（残存山林）への対応
 - ・ 残存山林について引き続き調査を実施
- ⑭-2 買収用地の対応及び買収用地の境界明示
 - ・ 買収用地の境界明示について、関係者と協議開始
- ⑮-1 発生土受入地の利活用策の検討
 - ・ 発生土受入地（北海道、八田部）について、引き続き利活用の検討を実施

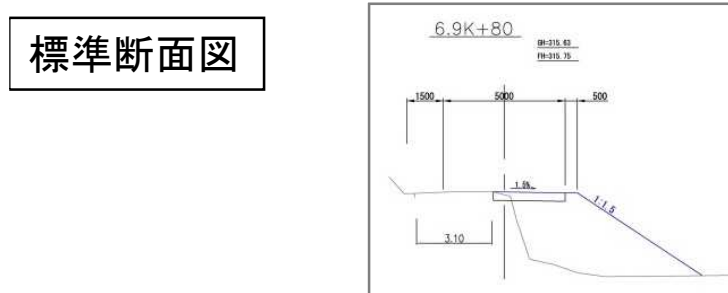
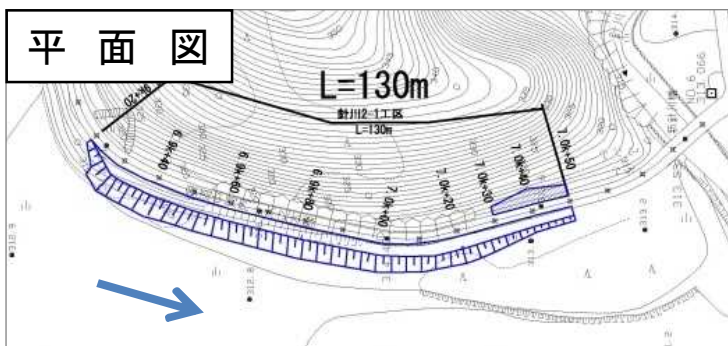
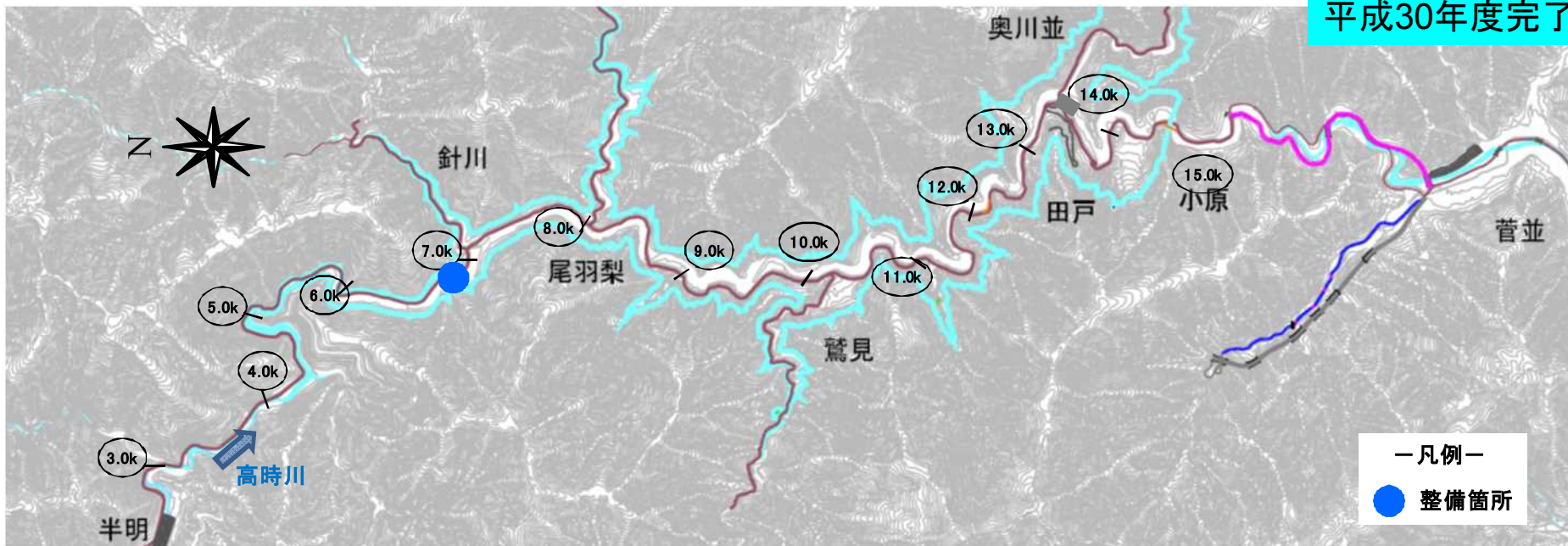
- ①－1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備
- ⑪－2 河川へのアクセス道の整備（道路原形復旧の一環）
- ⑭－3 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

- ・滋賀県の拡幅工事（水機構が滋賀県より施工受託）と併せ道路原形復旧を実施。
- ・道路整備箇所：令和元年度は合計2.04kmを実施（H30年度は約0.62kmを実施）
- ・現県道整備にあわせ、河川へのアクセス道の整備を4箇所実施
- ・現県道整備にあわせ、集落跡地の整備を実施



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

平成30年度完了



7.0k付近 施工前



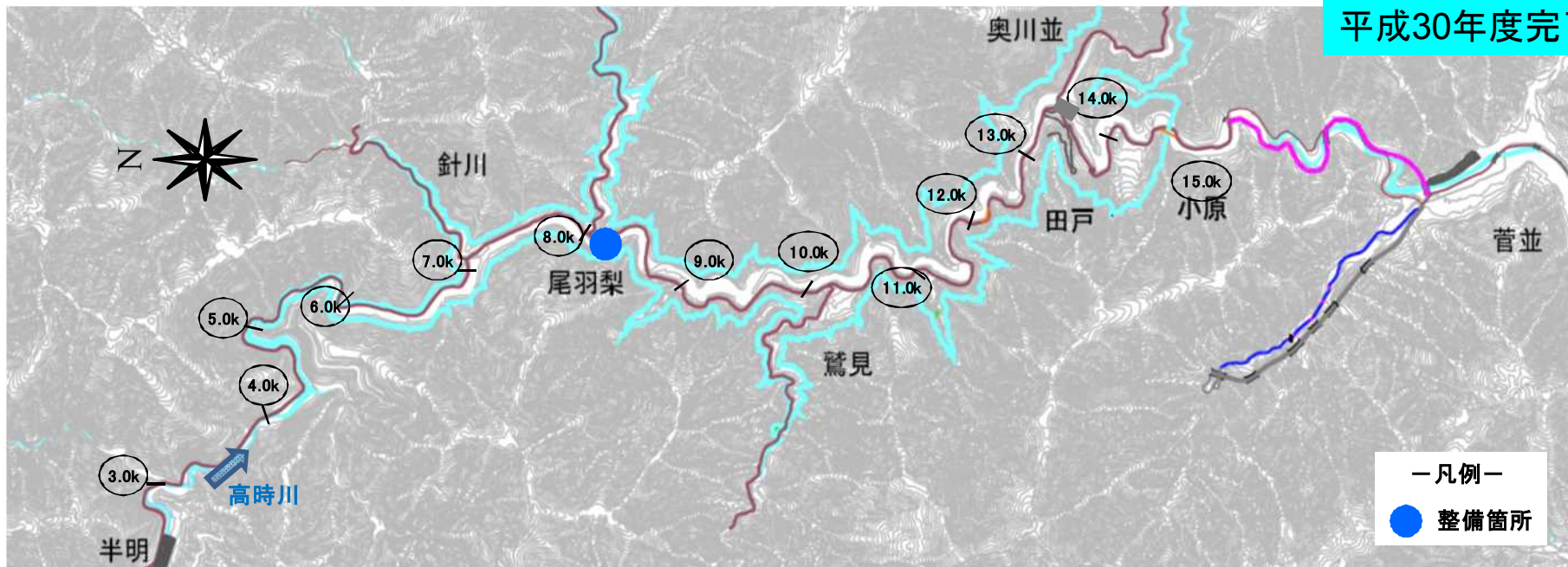
7.0k付近 施工後



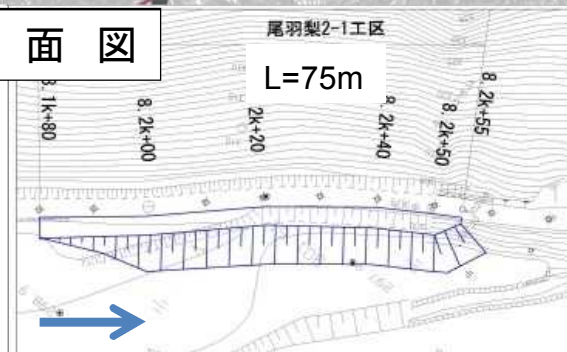
※路面舗装は別途工事にて実施

①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

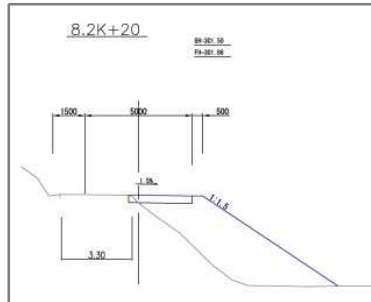
平成30年度完了



平面図



標準断面図



8.2k付近 施工前



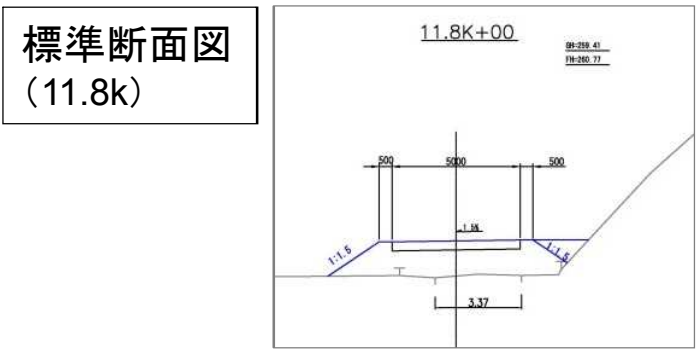
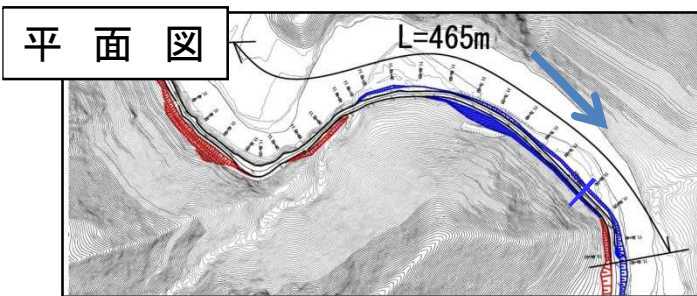
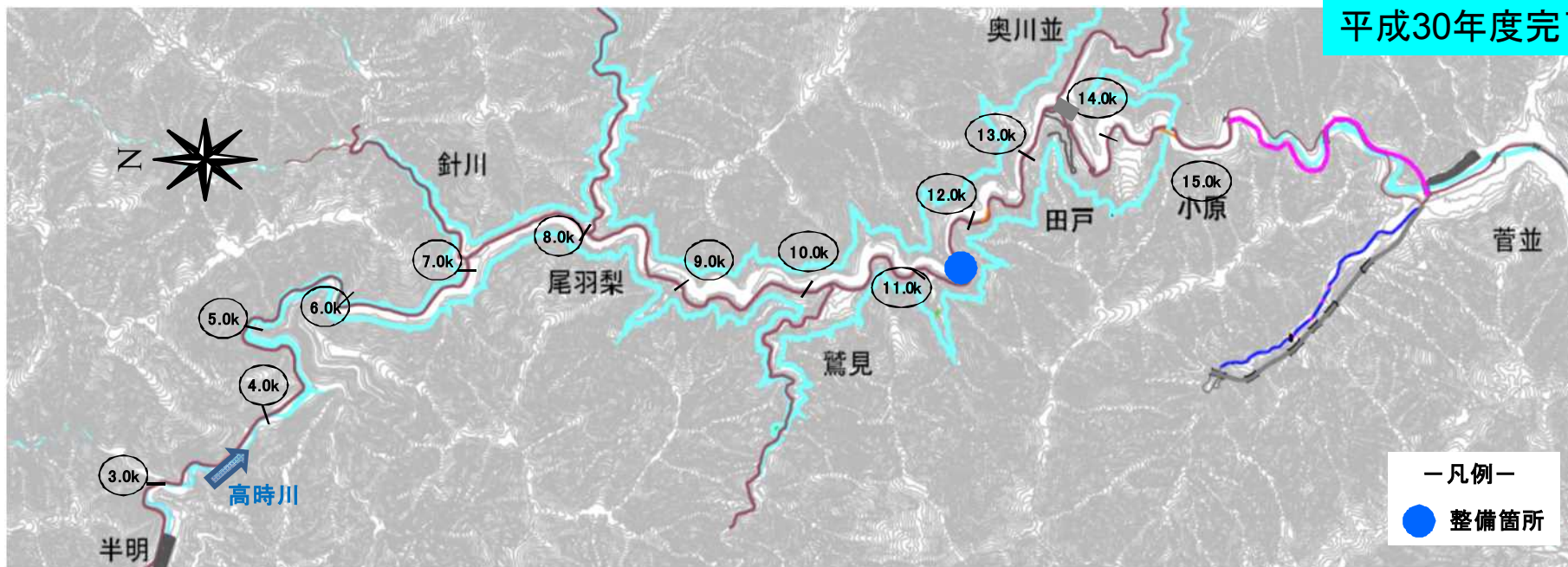
8.2k付近 施工後



※路面舗装は別途工事にて実施

①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

平成30年度完了



11.8k付近 施工前



11.8k付近 施工後



※路面舗装は別途工事にて実施

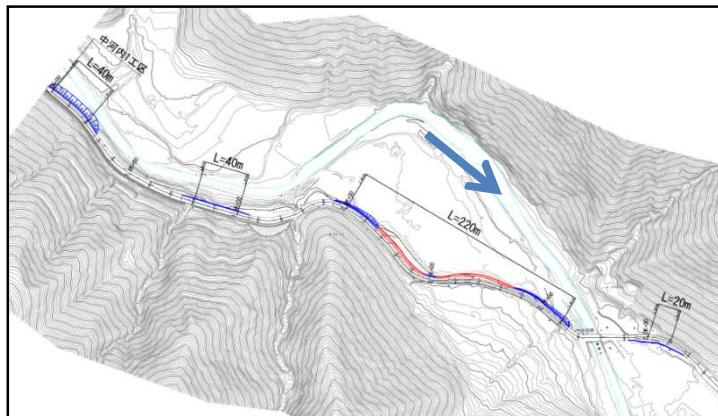
①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

令和元年度実施予定

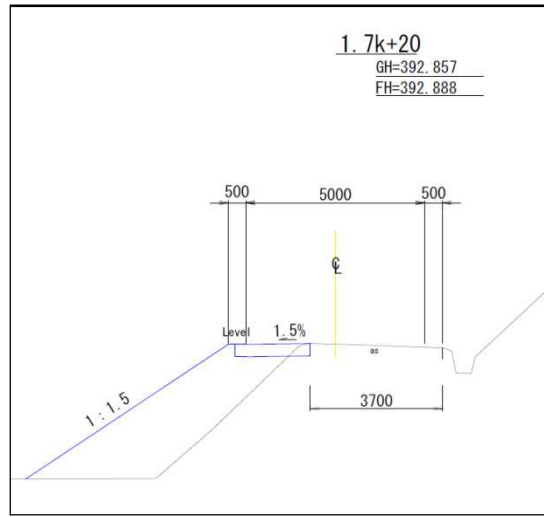


- 工事内容 (L=320m)
- ・道路土工 1式
 - ・法面工 1式
 - ・舗装工 1式
 - ・排水工 1式

平面図



標準断面図

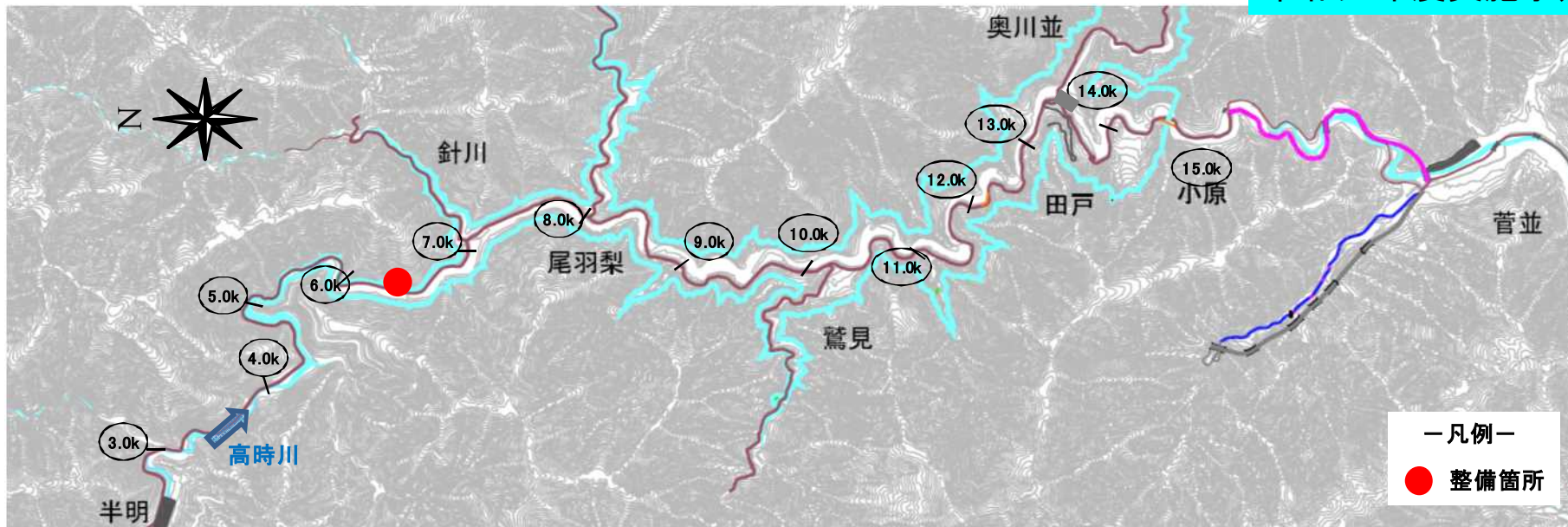


1.7k付近 施工前



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

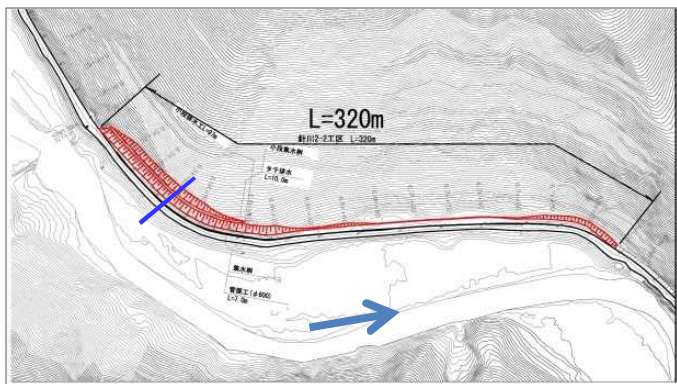
令和元年度実施予定



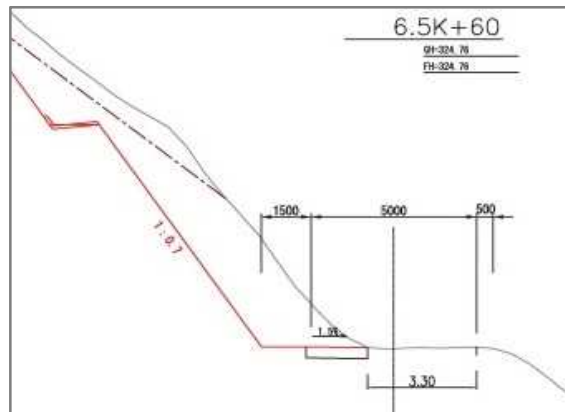
工事内容(L=320m)

・道路土工	1式
・法面工	1式
・舗装工	1式
・排水工	1式

平面図



標準断面図

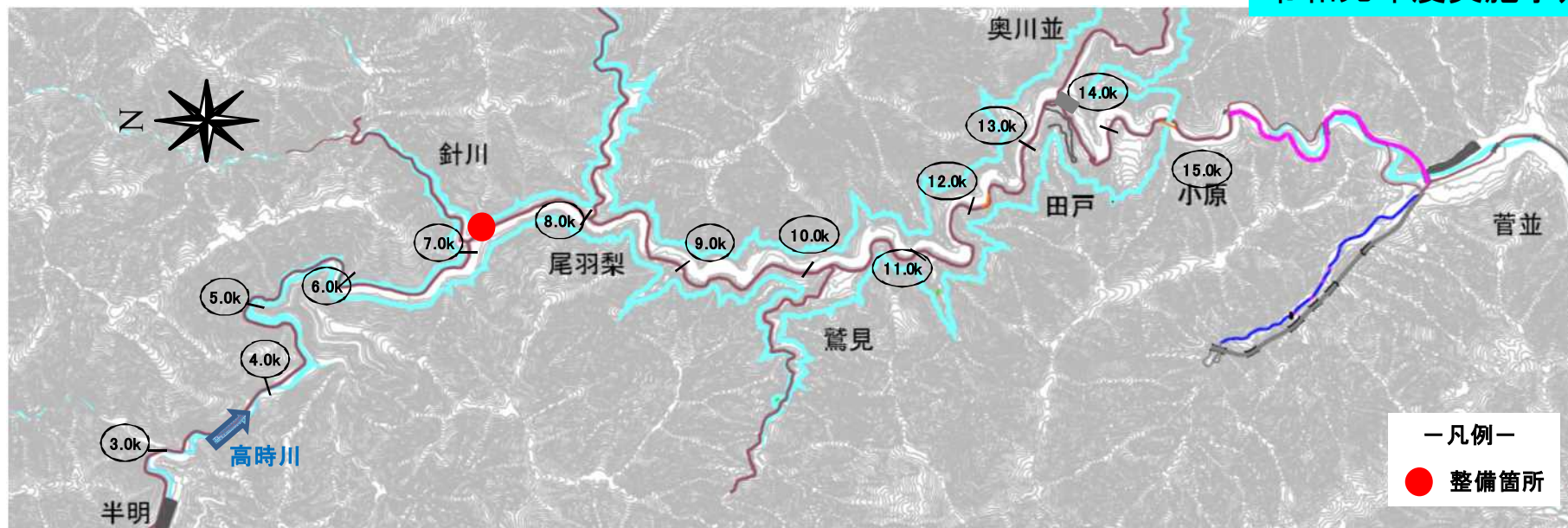


6.5k付近 施工前



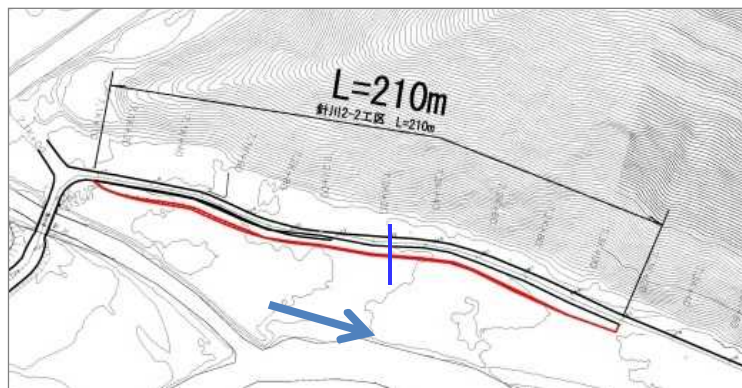
①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

令和元年度実施予定

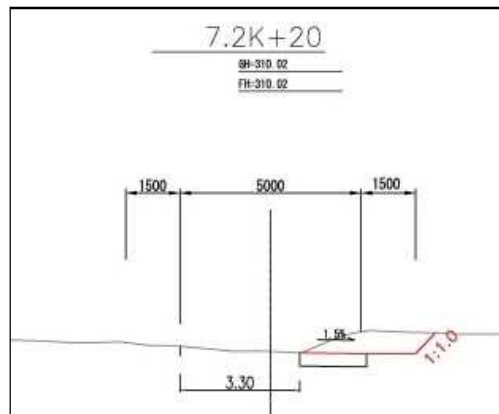


- 工事内容(L=210m)
- ・道路土工 1式
 - ・法面工 1式
 - ・舗装工 1式

平面図



標準断面図

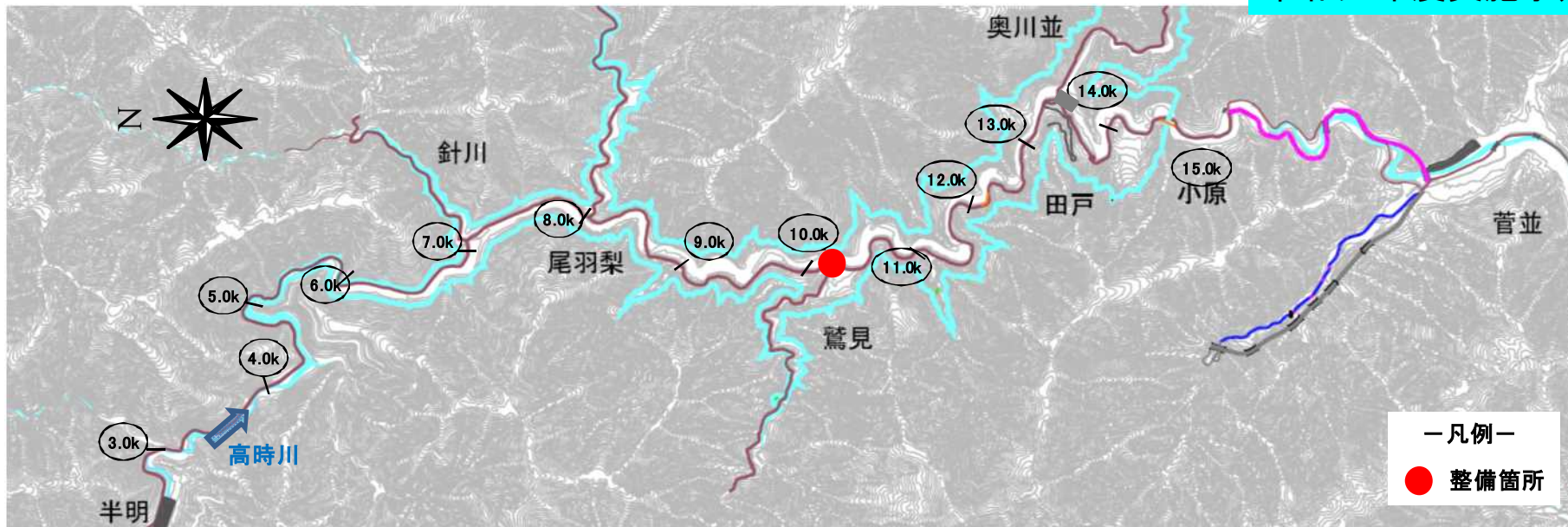


7.2k付近 施工前



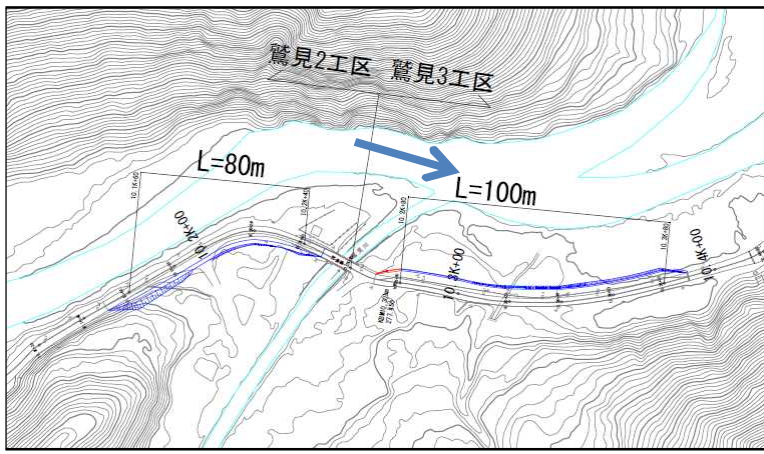
①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

令和元年度実施予定

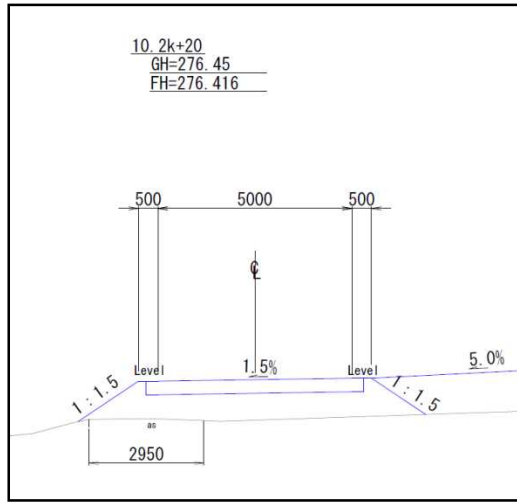


- 工事内容(L=180m)
- ・道路土工 1式
 - ・法面工 1式
 - ・舗装工 1式

平面図



標準断面図

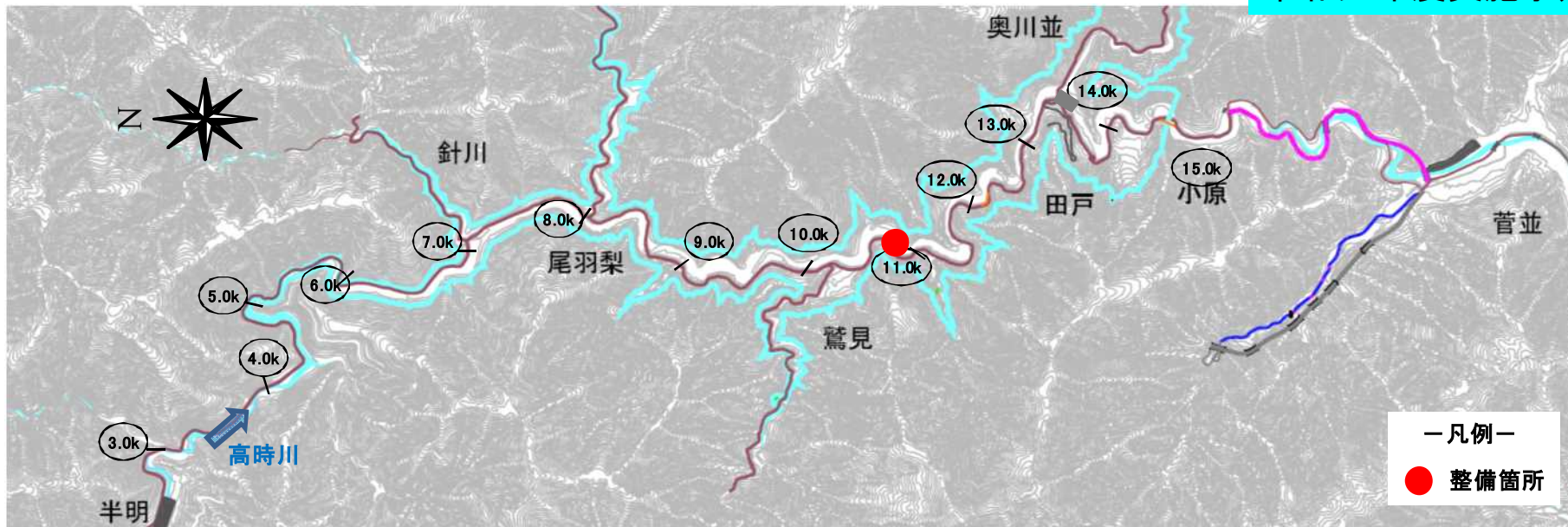


10.2k付近 施工前



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

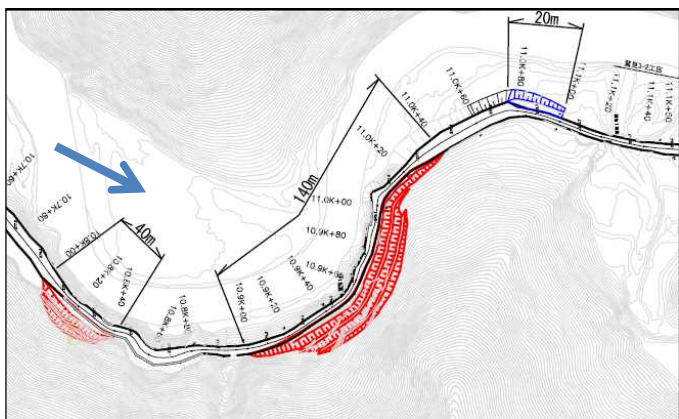
令和元年度実施予定



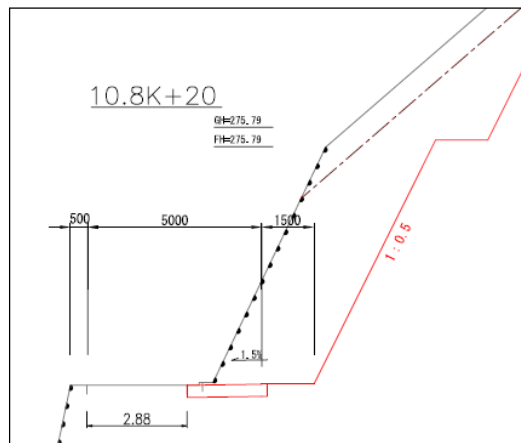
工事内容(L=200m)

・道路土工	1式
・法面工	1式
・舗装工	1式

平面図



標準断面図

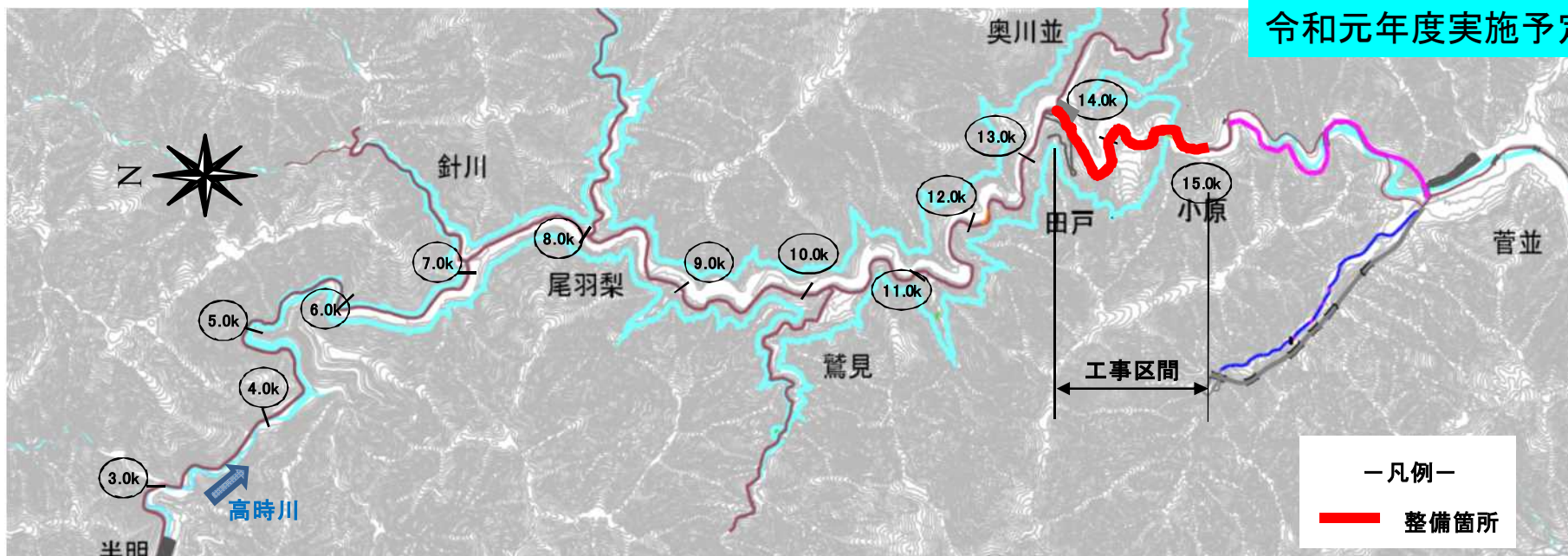


10.9k付近 施工前



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

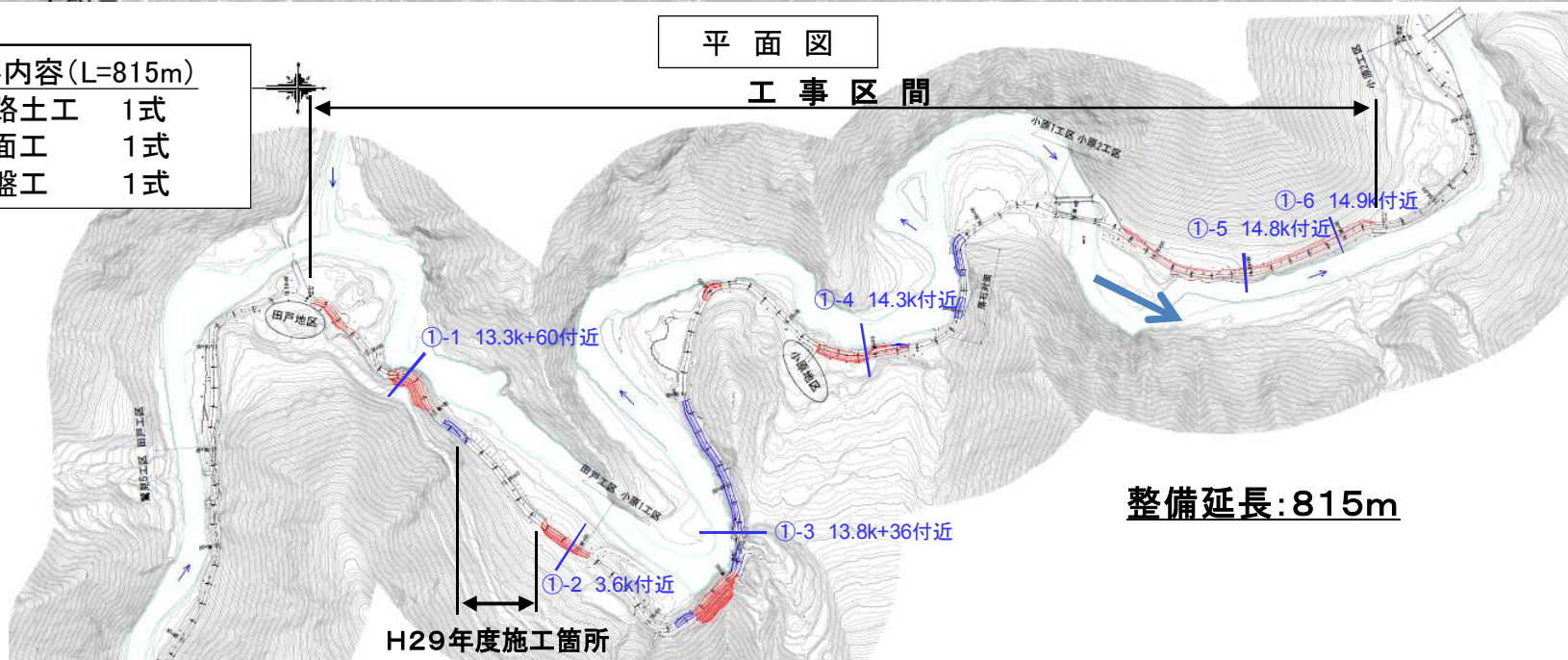
令和元年度実施予定



平面図

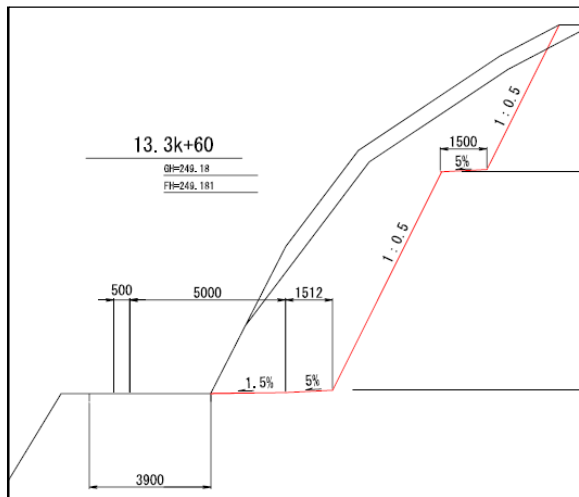
工事区間

工事内容(L=815m)	
・道路土工	1式
・法面工	1式
・路盤工	1式



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

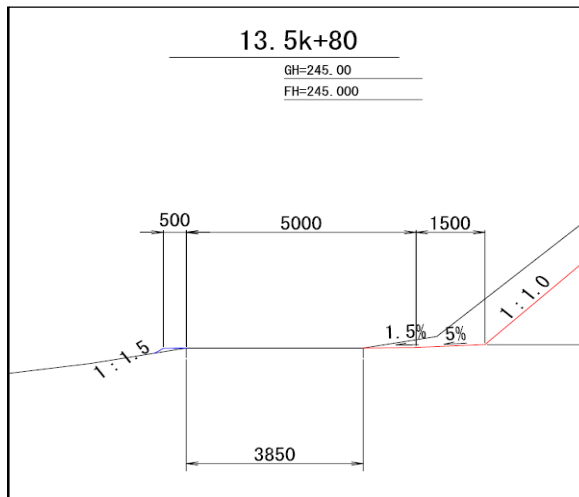
標準断面図①-1



13.3k+60付近 施工前



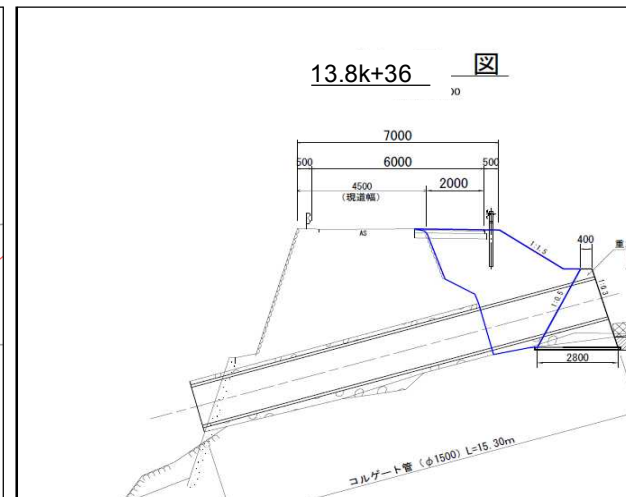
標準断面図①-2



13.6k付近 施工前



標準断面図①-3

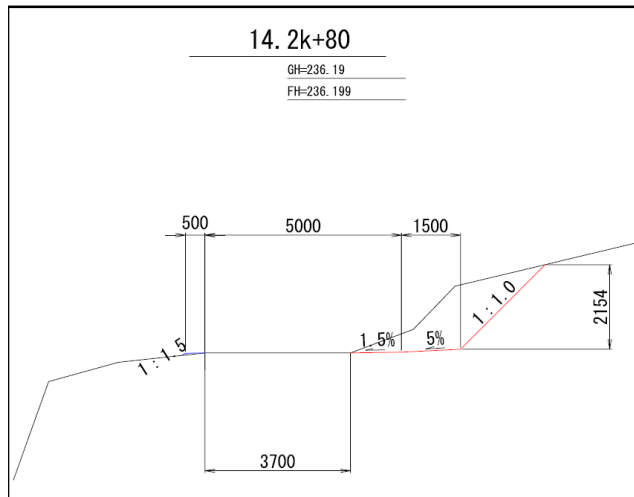


13.8K+36付近 施工前



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

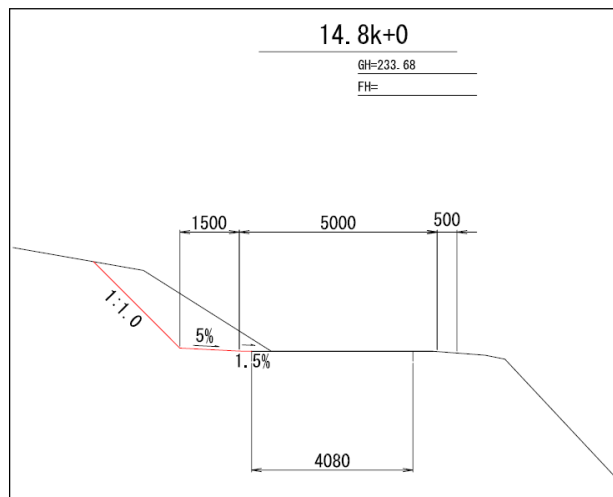
標準断面図①-4



14.3k付近 施工前



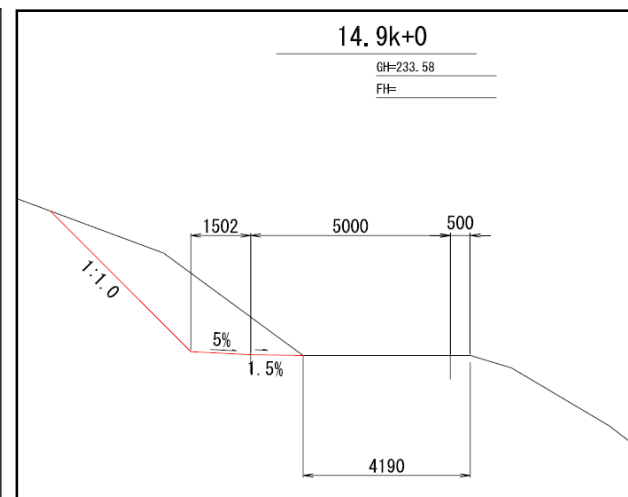
標準断面図①-5



14.8k付近 施工前



標準断面図①-6



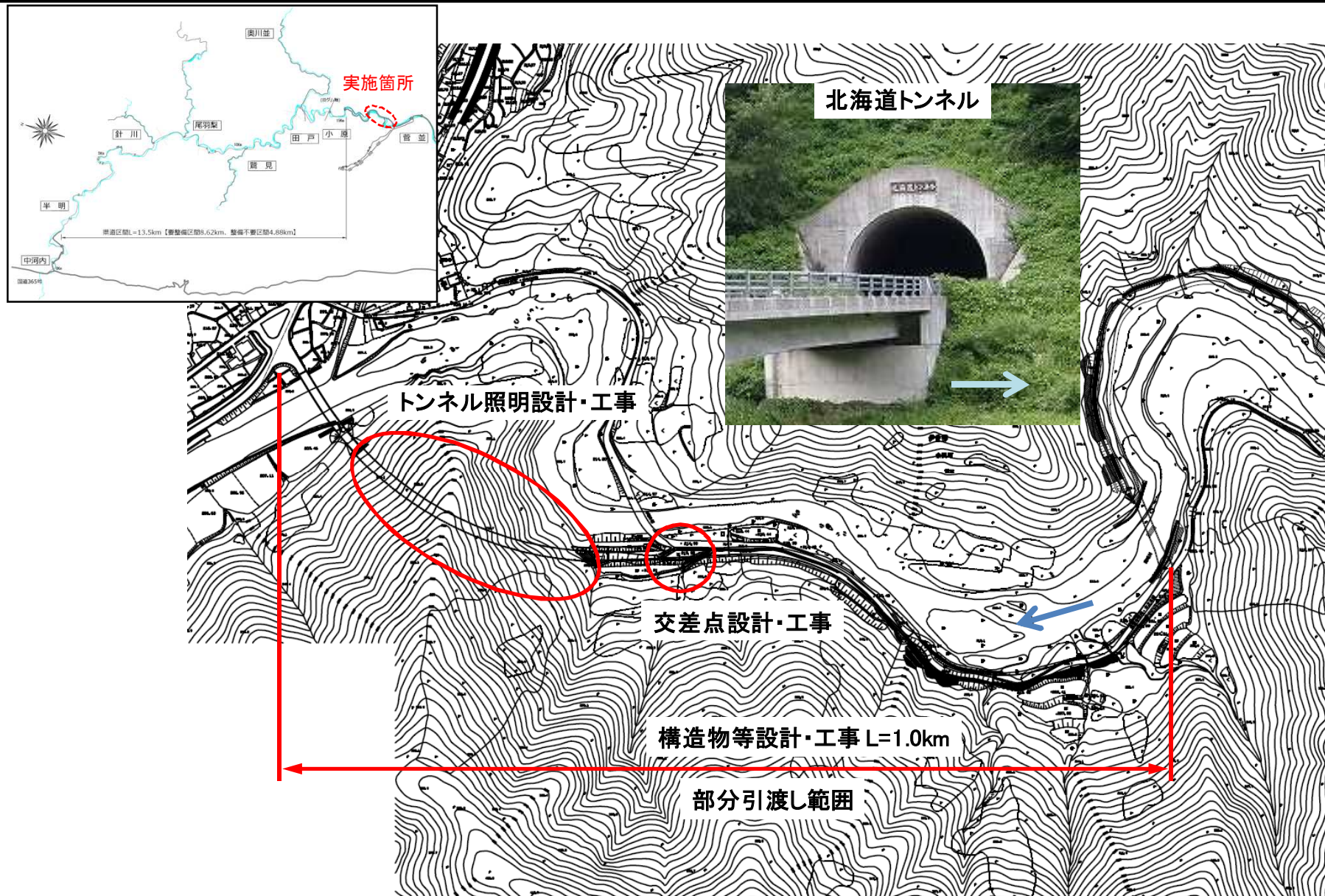
14.9k付近 施工前



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

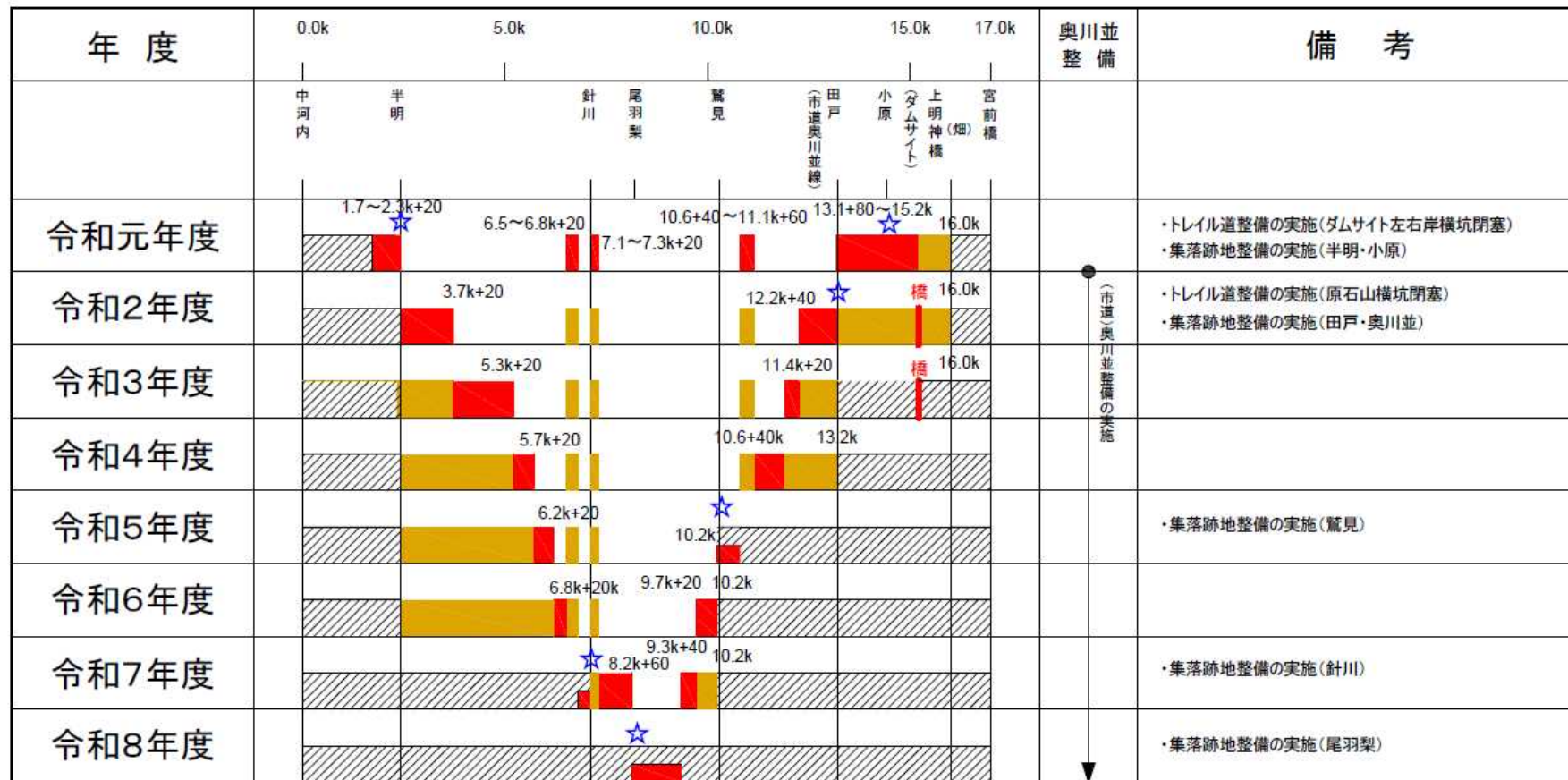
令和元年度実施予定

工事用道路2号線部分引き渡しのための設計及び工事を行う。



①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

県道中河内木之本線整備工事の計画について



■ 整備範囲 ■ 整備済範囲 ▨ 供用検討範囲 ☆ 集落跡地整備実施時期

※1 現在の滋賀県と水機構の協定では、令和8年度末が事業工期となっているが、災害等の発生による工程の遅延も想定されることから令和6年度末完了を目標に整備を進められるよう協議を行う。

※2 道路の供用については、水資源機構が道路管理者との協議を行った上で、供用検討範囲内で可能な箇所から開始することとする。

※3 河川へのアクセス道の整備は県道整備に合わせて実施する。

※4 工事及び供用の具体的な範囲と時期については今後調整し決定する。

②-1 工事用道路として利用した市道洞寿院線(舗裝修繕)

⑥-3 生活関連施設等の整備(工事用道路で利用した道路原形復旧の一環)

平成30年度一部補修
令和元年度実施予定

工事用道路として利用した市道の損傷箇所について舗裝修繕等の復旧を行う。



⑪-1 トレイル道の整備(調査施設撤去時の作業道)

令和元年度実施予定

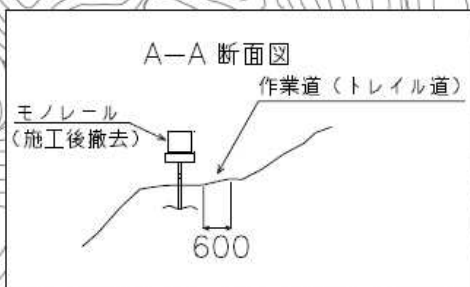
トレイル道整備:横坑・立坑閉塞の作業道を兼ねたトレイル道を設置する。



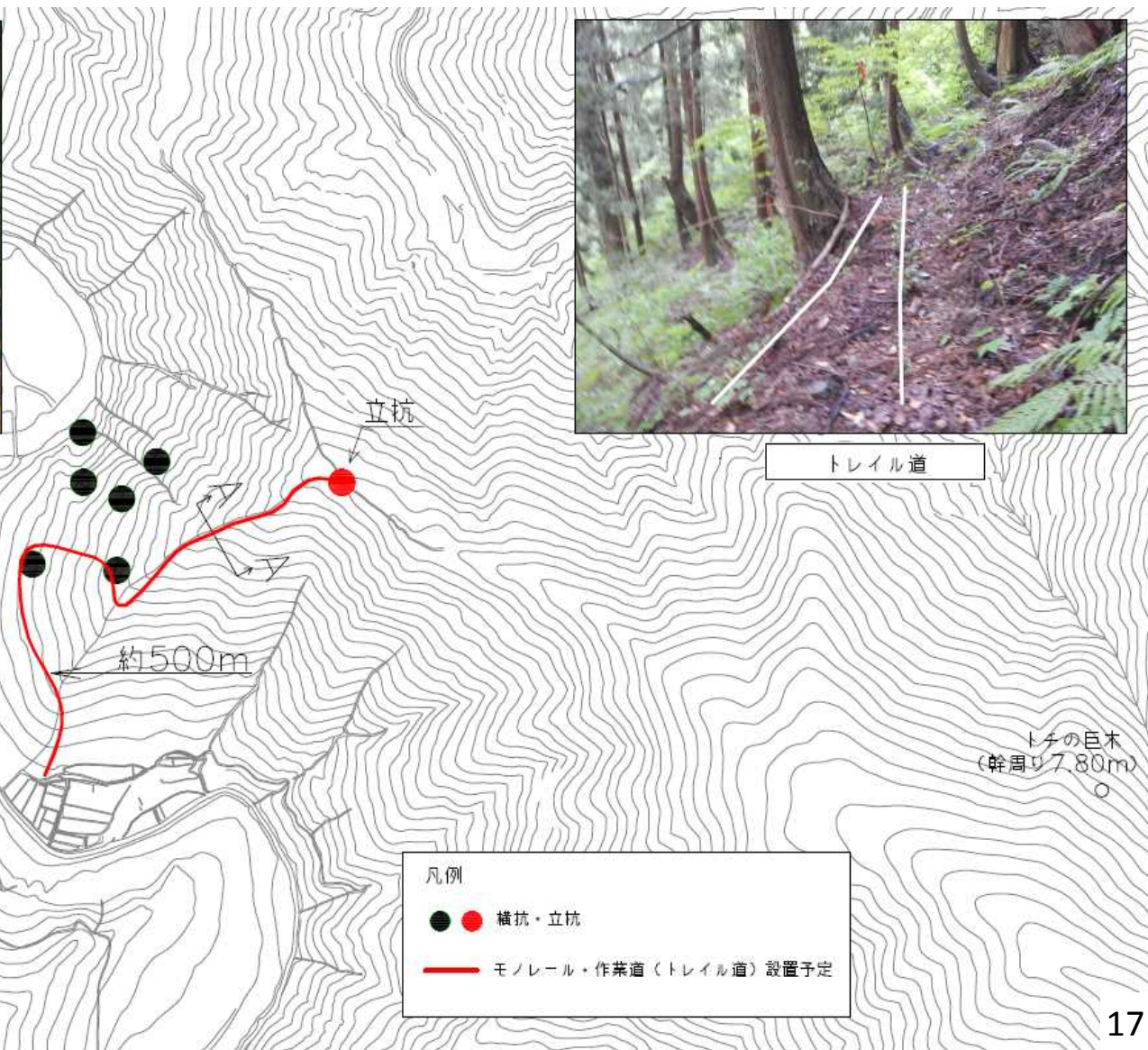
モノレール・トレイル道イメージ



トレイル道



トレイル道イメージ



⑬-1 ダム事業を通して収集した地域資料の活用

・丹生ダムの建設事業を通じて収集した地域の地誌・歴史・環境等に関する膨大な資料、旧中河内小学校に関する記録も含めた資料の整理及び活用方法の検討を実施。

【地域資料の概要】

- 1) 地誌: 丹生地域の自然・社会・文化などの特性に関する資料
 - ・民俗・風土文化に関する風土誌
 - ・昭和55年12月豪雪に関する記録
 - ・消えゆく里の記録
- 2) 環境調査等資料: 建設所で実施した地質、動植物等の調査資料
 - ① 丹生ダム関連環境調査資料
 - ・環境基盤調査(地形、地質、植生、河川形態)
 - ・動植物(確認種の状況: 植物、ほ乳類、鳥類、両生類、ほか)
 - ② 高時川の川模様(年間の四季折々の写真)、瀬切れ実態等
- 3) 歴史: 余呉・丹生地域の歴史のあゆみなどに関する資料
 - ・余呉町誌 通史編 上巻・下巻
 - ・旧中河内小学校に関する記録
- 4) その他
 - ① 自然環境調査報告書
 - ② 水文・気象データ など

【平成30年度実施内容】

- 1) 閲覧候補地の聞き取り実施
- 2) ダム対への資料リスト提示

【令和元年度実施予定】

- 1) ダム対の意見を受け具体的な利用方法について検討



地誌



資料閲覧イメージ



広報誌等

⑭-1 買収用地以外の山林（残存山林）への対応
⑭-2 買収用地の対応及び買収用地の境界明示
⑮-1 発生土受入地の利活用策の検討

- ・残存山林について平成29年度から調査(地番図作成作業)し、現在地権者確認を実施
平成30年12月から平成31年3月、ダム对各支部に対して調査結果(地番図)を提示し確認を
依頼。(針川支部、鷲見支部、奥川並支部、確認済 その他は確認中)
- ・買収用地の境界明示について関係者と協議開始。(令和元年度～)
- ・発生土受入地(北海道、八田部)について、引き続き利活用の検討を実施。(平成29年度～)

